

## 第1回東輝・詳徳中学校ブロック協議会 議事録要旨

### ■日時

平成28年6月28日(火)午後7:00～午後9:00

### ■会場

亀岡市役所 3階 302・303 会議室

### ■議事

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 亀岡市学校規模適正化について
  - ・ 亀岡市教育振興基本計画
  - ・ 亀岡市学校規模適正化基本方針
  - ・ 東輝・詳徳中学校ブロック学校規模適正化実施計画(案)
- 4 意見交換
- 5 その他
- 6 閉会

### ■意見交換発言内容

委員	この計画では学校は混乱する。学校現場の声が入っていないまま進められている。過去に東輝中から詳徳中が分離新設された際に、1年生から3年生まで二つに分かれて学校が荒れた。その場合犠牲になったのは生徒である。東輝中は700人でも800人でも大丈夫。今は二校とも落ち着いている。学校規模適正化基本方針の中で示されている、1学級の人数が20人から34人は東輝中では難しい。少人数にするとなると教師が足りない。東輝中が減った分、詳徳中が増えるが、詳徳中がかなりしんどくなる。それだけの環境整備をしてからでないといけない。今、詳徳中も東輝中も落ち着いている中、手を加えることはとても不安である。この校区割は小中一貫教育の面でも良いし、反対ではない。しっかり準備期間をもってからやってほしい。なぜ、中学校が29年度からで小学校が30年度からなのか。
教育委員会	中学校は、在校生はこのままで、新入生を来年度から変更したい。小学校は、安詳小学校の児童数が増加を続けており、厳しい状況であるため、一日でも早く区域変更したいが、児童に配慮して交流する機会を設けるなど、今から一年間円滑な移行ができるよう準備をして、平成30年度に変更していただく。その際は、通学の安全面を考えて基本的には6年生はそのままで、1～5年生は全員移っていただきたいと考えている。
委員	中学校で兄弟が別れて通学する可能性があるが、3年間は通学できる学校を選択制にしてもらえるのか。

教育委員会	希望される場合は、校区外からの通学という特例扱いをしたい。兄弟関係を重視すると上の子と同じ学校を選択した場合、その子が卒業すると下の子がひとりになることもある。兄弟関係を尊重するか、友人関係を尊重するかは各家庭の判断となる。
委員	小学生は集団登校しているが、6年生がいなくなると、上級生がいなくなり心配である。
教育委員会	この校区割は、距離の面で近くなる子が多くなる。安全面を考えての計画案であるが、学校や保護者にもサポート願いたい。
委員	適正化の方向性としては良いと思う。ただ子どもが落ち着かなくなるので、できる限り弊害がなくなるように、説明や準備期間を設けてほしい。詳徳中は、この計画では少人数授業の教室や進路相談室等が無くなってしまう。施設面の手立てをしてもらえるのか。
教育委員会	中学校は、新入生から変更してくため、3年かかる。施設の問題は3年間に渡り見えてくるため、その間に対応したい。安詳小学校の現状と課題について、御発言いただきたい。
委員	安詳小学校は、来年度はなんとか行ける。再来年は、特別支援学級が増えるか、社会増がなければ物理的に可能だが、予想がつかない。校区を変えることは大きな問題で、学校としては時間をかけて出来る限り地域の意見を聞いて納得の上で進めてほしい。
教育委員会	意見が出ているように、小学校については円滑な移行ができるように、準備をしながら平成30年度からでよいと考える。
委員	教育委員会は、現状をどこまで把握しているのか。詳徳中学校では、少人数授業ができなくなったり、特別支援学級ができなくなる。理想とする学級人数は何人を考えているのか。設備的な問題、人材の問題があり3年後に解決できるのか。過去に東輝中から詳徳中に分かれた際に、その辺が不十分だったため、生徒が荒れた。入学説明会は10月に実施するが、その時に小学6年生は、東輝中に来るつもりで来て、別れて進学することになる。10月までに決めるのは無謀だと思う。なぜそんなに慌てるのか。
教育委員会	別れて進学するというのは、何を基準に言われているのか。安詳小の児童が東輝中に行く準備をしていたが、詳徳中に行くことになることが分かれて進学するということか。
委員	10月の入学説明会で東輝中へ進学することを前提に話をした後に、あなたは詳

	徳中ですと伝えることである。
教育委員会	この会議がまとまった時点で、教育委員会に諮り、その後保護者等へ説明会を開いて、進学先は東輝中でなく詳徳中ですと説明をしたい。円滑な方法であると判断してこの計画案を出している。
委員	10月までに行うというのは無謀である。まだ教職員は知らないことであり、学校側は10月までに体制が整えられない。
教育委員会	学校の体制を整えてください。
委員	なぜ、社会増が見込めなかったのか。なぜ、ぎりぎりになって慌ててやるのか。どのように保護者説明をしようと考えているのか。保護者としては安詳小の児童が増えることで、教育の質は落としてほしくない。もう少し、ひとつひとつ丁寧に自治会やPTAに説明してほしい。
教育委員会	丁寧に説明していきたい。ただ、これは自治会やPTA、学校の各代表と市民公募の委員で2年かけて議論をし、方針をまとめてきた。今からスタートしているわけではなく、ホームページでの公表もしてきている中で、統合や校区的見直しがあるのか等心の準備はしていただいているのかなと考えている。学校規模適正化の問題はその校区だけの問題ではなく、亀岡市全体の学校の問題でもある。中学校給食、普通教室のエアコン、小中一貫教育等のいろいろな環境整備を行うために適正化を行っている。人口減少や少子高齢化の中、これまでと同じ学校数を維持していく力が自治体には無くなってきている。だから、全国の自治体で学校の適正化が行われている。一時的には、学校を変わられる方には不安があると考えているが、最終的には、その方も含めてみんなが今より良質な教育環境を享受していただけるのではないかと教育委員会では判断し、この計画案をお示ししている。ただ、対象となる区域の皆さんは、理解いただくのに時間がかかると思うので、できるだけ丁寧に説明したい。
委員	小学校の立場から申し上げると、今の6年生が対象となるが、現場の先生や地域が納得できるように時間をかけてやってほしい。実際に6年生は9月から中学進学に向けて動き始める。今からでは無理があると思うし、それでも教育委員会からやってくださいと言われたら、協議にならない。
教育委員会	お尋ねするが、PTAとしては、今の小学校6年生が友達と別れて中学校へ進学するほうがよいのか、一緒の中学校へ進学するほうがよいのか。
委員	率直に言えば一緒のほうがよいと思う。検討を前からやってきたというが、周知ができていないのではないかと。ホームページに載せているから見てくださるのではなく、見るような形の進め方をしてきたのか。今までのやり方を正当化し

	ているように思う。
教育委員会	PR 不足については反省しているが、内容が固まっておらず、協議の途中のものをどこまで周知できるのか非常に難しい。学校規模適正化検討会議の各代表の委員を通じた広がり期待していた部分もあった。現実的には、PTAの役員には話が伝わっても保護者までは伝わっていないということで、教育委員会としてやり方を工夫する必要はあった。
委員	このような大事なことを一年前ならわかるが、6年生に2・3か月で考えなさいというのは早い。
委員	亀岡地区の上矢田は以前に亀岡小の校区からつつじ小の校区になったが、地域が揉めて入学式の前日まで決まらなかった。それをまた亀岡小の校区に戻そうという動きがあったが、保護者自身がつつじ小から亀岡中へ進学していて、それは良い経験だったから戻さなくてよいとなった。教育委員会がやってきたことは分かったが、それが地域の中にどれだけ入ってきたのか。1～2年遅れてでも学校現場の声や地域をちゃんと聞いてほしい。地域の中が賛成反対で分かれてしまい、子どもにも影響を与えてしまう。数合わせに聞こえるのでちゃんと説明をしてほしい。
教育委員会	数合わせではなく、小中一貫教育を推進する上で障害となっているので、できるだけ早く小学校から中学校へ別れて進学している現状を解消したい。
委員	中学校も良い環境を作りたい。だから時間が欲しい。
教育委員会	スケジュール的に無理があるのはわかる。ただ、根本にあるのは児童生徒のために、行政や学校や大人が、何ができるかではないか。みんなで努力しましょうということ。
委員	保護者への説明をどのように計画しているのか。
教育委員会	夏休み中に決定して、9月から各学校に説明に寄せていただきたい。
委員	質疑応答の時間はあるのか。保護者の細かい不安を解消するのは学校なのか。気持ちの面ですべての人が納得するには時間が足りない。
教育委員会	基本的に教育委員会で決定し、本ブロック協議会でまとめた後、その内容を説明させていただいて、御理解いただくこととしたい。その時点で変更することはない。細かい不安については、学校だけにお任せするつもりはない。
委員	安詳小から詳徳小へ移る区域が、自治会の区の中で分かれているが、その辺り

	の調整はどうか。地元の意見を聞いてやっていないのではないか。
委員	その区割りを現場にいて話を聞いてからやるべきではないか。
教育委員会	地元を無視してやっているわけではなく、将来の人口動向データを使って、安全な通学方法等の検証をしながら計画を作った。
委員	総論は反対していない。もう少しきめ細かい対応をしてほしい。なぜ、自治会長に区割りを見てもらわなかったのか。学校と教育委員会で地ならしをしてから会議をやるべきではないか。
委員	中学校はもう少し時間がほしい。時間があれば一定の段階まで持っていける。
教育委員会	東輝中学校は平成30年度からであればうまくいくのか。
委員	その考えのとおり同じである。1年かかるのか、場合によってはもう少し早くまとまるかもしれない。
教育委員会	お聞きしたことは教育委員会に諮り、判断いただいて、決定したい。
委員	この計画（案）はいつ決まるのか。保護者への周知は10月の保護者説明会に間に合うのか。
教育委員会	このスケジュールでも教育委員会で決定するのが8月になる。
委員	教育委員会はもう少し謙虚に進めてほしい。自治会説明をしてほしい。
委員	私は、国道より南に小学校をひとつ造れば解決されると思うが、夕日ヶ丘ができる時に学校用地を確保しておくべきだったのではないか。 もう少し学校現場の意見も聞いてほしい。
委員	住民の理解と納得が大事である。地元説明をしてほしい。校区が変わっても自治会は変わらないということによいか。
教育委員会	変わらないと考えている。
委員	最終的にこの案は誰が決定するのか。
教育委員会	最終的には教育委員会に諮って決めていただく。
委員	今日の会議の内容を聞いて、時期的な問題、説明の問題を2か月でどこまで取

	り戻せるかである。
--	-----------